

JICA 留学生在が初めて「うみのこ」に乗船！

「琵琶湖をめぐる開発と保全の教訓」プログラム開催(2月2日～3日)

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）は、2024年2月2日（金）～3日（土）に滋賀県内で JICA 留学生* を対象に「琵琶湖をめぐる開発と保全の教訓」プログラムを実施します。国際湖沼環境委員会（以下、ILEC）の講義、琵琶湖博物館の見学に加えて、JICA 留学生向けのプログラムでは初めて滋賀県内の全小学生が乗船する学習船「うみのこ」に乗船します。

「うみのこ」は湖の環境改善に取り組む中米のニカラグアでも参考にされており、JICA はニカラグア版「うみのこ」も支援しています。琵琶湖の湖沼環境開発、滋賀県が誇る「うみのこ」乗船、そしてニカラグア版「うみのこ」について学ぶことで、JICA 留学生在がどのように感じ、どう自国の環境保全、環境教育にその知見を活かすのか、ぜひ取材ください。

日本最大の湖である琵琶湖は400万年の歴史があり、2000種以上の生き物が暮らしており、固有種もたくさんいます。人も古くから湖のまわりで、その豊かな自然を利用して生活をしてきました。そんな琵琶湖では、水環境の開発（治水・疎水）とともに、「石けん運動」に代表される環境保全や市民運動をおこなった歴史を持ち、多くの事例・実績が蓄積されています。学習船「うみのこ」は就航（昭和58年度）以来、3,700回以上の航海で60万人以上が乗船し、県内の小学5年生は1泊2日で様々な体験学習に取り組んでいます。

今回、JICA 留学生は約100名の小学生と「うみのこ」に同乗して、プランクトン、湖底の観察や、琵琶湖の経験・漁業を学び、環境を守るためにできることやこれからの生活で工夫できることを考えます。

また、中米のニカラグアには琵琶湖の2倍近い面積のマナグア湖があり、農業排水や工業排水、生活排水の流入による汚染や、湖畔には大量のごみが打ち寄せられるなど、環境問題が山積しています。「うみのこ」乗船後、琵琶湖での湖沼環境開発の知見を参考にした取り組みの一環として、ニカラグア版「うみのこ」の事例も学ぶことで、より実践的なプログラムとなることが期待されます。

<「琵琶湖をめぐる開発と保全の教訓」 基本情報>

日時：2024年2月2日（金）～2月3日（土）

実施場所：琵琶湖博物館（2月2日）、うみのこ、ピアザ淡海（2月3日）

参加者：JICA 留学生15名（インドネシア、ウズベキスタン、エジプト、エチオピア、ガーナ、カンボジア、ケニア、スリランカ、バングラデシュ、ベナン、リベリア）

留學生研究テーマ：水生生態系の保全、衛生政策、持続可能な都市インフラ開発など

<日程>

時間	内容	場所
2月2日（金）<1日目>		
11:15-12:45	講義「琵琶湖の開発の歴史と重要性の認識」 講師：ILEC 中村副理事長	琵琶湖博物館
13:30-14:00	琵琶湖博物館 博物館の解説	琵琶湖博物館
14:00-16:00	琵琶湖博物館 自由見学	琵琶湖博物館
2月3日（土）<2日目>		
7:20-14:30	「うみのこ」乗船（大津港から出港、大津港戻り）	うみのこ
15:00-16:30	1. 事業紹介：ニカラグア版「うみのこ」の紹介 担当：JICA ニカラグア事務所 2. JICA 留学生によるディスカッション 「琵琶湖の知見を自国の水質環境改善/教育に活かすには」	ピアザ淡海

- ・取材をご希望の場合、2月1日12時までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。
ご連絡いただいたメディア関係者様には別途、詳細な場所をご連絡いたします。
- ・2月3日、メディア関係者の皆様は「うみのこ」には乗船いただけません。下船後の14:30以降、大津港またはピアザ淡海でJICA留学生への取材が可能となります。
- ・日英の通訳も同行します。
- ・天候など諸条件で各イベント内容を変更する可能性があります。
- ・各行程の時間は前後する可能性があります。

*JICA 留学生：開発途上国からJICAのプログラムで来日し、日本の大学院（修士課程あるいは博士課程）で学んでいる留学生。自国の行政官、研究者、民間企業出身者など、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材を受け入れています。研究とともに、日本の近代化の歴史を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。現在、アジア、アフリカ、中南米など出身の約280名が関西地域の12の大学院で学んでいます。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 開発大学院連携課 三浦 眞暉
TEL : 080-7144-6036 E-mail : Miura.Maki@jica.go.jp

ニカラグア版「うみのこ」参考：

**【COP26でも紹介】ニカラグアの巨大な湖の水をきれいにする！：
日本の「琵琶湖」をお手本に「BIWAKO タスクフォース」が大活躍**

(右 QR コード参照→)

